

【表紙】

美談孝子の赤誠 全二巻

【表紙 裏】

【1頁】

写(十六ミリ)

美談 孝子の赤誠

全二巻 二二五米

台湾総督府

N第二九七号

検閲済

有効期間

自昭和十五年二月九日

至昭和十八年二月八日

活動写真「フィルム」規則

第十條第二項依り手数料ヲ免除ス

本「フィルム」ハ手数料ヲ納付スルニ非

サレ、営利・性質ヲ帯フル興行

ニ使用スルコトヲ得ス

障害ナシ

【2頁】

【3頁】

美談 孝子 赤誠 全二巻

梗概▽都会を遠く距った一寒村に母なき後貧しき父と二人で暮らす少年があ□

彼の名を鎌吉と呼び学業を励み乍ら父の家業を助けて孝養をつくし学校の成績は

何時も優等でありました。彼の父は常には彼を可愛がりますが一度び酒を口にすると全く違った父となって狂乱するのでした鎌吉は斯んな時も変りなく父の為に優しく働く少年でした或る日の夕方何時もの様に酒屋の店先に紫を背負って来て又此の紫で酒を下さいと頼んだのですが酒屋の主人が何時の間に代つて居て紫などでお酒がやられるかと怒鳴りました鎌吉は悄然として立ち去りました。それから間もなく渦巻く谷川のほとりに立つ思案顔の少年がありました其れは孝子鎌吉であります父親は鎌吉の帰りが遅いので谷川の辺迄出迎えました。その刹那鎌吉が濁流に呑まれた姿を見ました父は狂気の様に激流に飛び込み救い上げた流水に落ちたのは身を投げたのではなく昔ありし養老の滝の物語を思ひ出して純な心からそれをまねて誤まって川に落ち込んだのであった

をわり

【4頁】

字幕

1、A美談孝子の赤誠

2、お父さん今日は大変機嫌が好いなあ、□□かだよばれたのかい

3、お！お父さんはな途中で御馳走になって来たんだよ

4、あ：お前は孝行者だ町へ行つてきて呉れたのかい買物の残りを幾位か持つて居るならお父さんに借してくれ

5、お父ちゃん早く帰つて来ておくれ

6、父は性来の酒呑みでそれに妻と次男に死に別れてから何時しか自暴自棄の様  
に酒無くては居られぬ半病人となつた

6、鎌！酒だ……

7、不景気な顔をしづに酒でも買って来い

8、何をして居るんだ……

9、親の言ひつけにそむく奴があるか早く買って来い

10、よく買ひに行かないな

第一巻

【5頁】

1、うるさい

2、浮かぬ鎌吉の顔を見て受持ちの先生は……

- 3、なるほどデハそのお米の代は先生が上げませう
- 4、これは先生の考へ違いであった□し度々貰つてゐる魚の代として上げるから受取りなさい
- 5、先生ありがとうございます
- 6、昔から立派に成功した人は赤貧洗ふが如き家庭から出て居ります 君もお父さんを大事に益々勉強して立派な人になって下さい
- 7、鎌吉済まないが酒を買つてきて呉れ
- 8、あのいつもの様にこの紫でお酒を下さい
- 9、いつもの小父さんはこの紫でお酒と替えて呉れたのだけれど
- 10、此の店の主人は変わったのだよ
- 11、先の小父さんの様にお願ひが出来ないかしら
- 12、駄目だ駄目だ

【6頁】

- 13、今日に限つてどうしてこんな□□いのか
- 14、昔新しに聞く養老の滝を思ひ浮かべて
- 15、才！鎌ッ分るかお父さんが分るか
- 16、鎌ッ鎌ッお父さんの顔が見えるかお父さんだよ
- 17、お前はそれ程までにこのお父さんに酒を吞ませ様と思つたのかい
- 18、あ！美味しいとも美味しいとも
- 19、お父さんが悪かった鎌、許してくれ今日から行を改めて一生懸命に働くんぞして親子で楽しく暮そう
- 20、愛は無限なり 健気な純愛は働くよい父として二人を平和と幸福の軌道へ乗せて……

終り

【データ採録者…加藤宏明】

【データ校正…笠原亮介】